

The Charming Students of Kizukuri High School

—魅力ある木高生たち—



馬市まつりに参加して

木造高校は、ここ数年1年次生が「馬市まつり」の市内パレードに参加しています。また、去年と今年は、木高祭においても「馬市まつり」についての展示や馬提灯づくりをしました。今回は、地元の祭りに参加した生徒の声をお届けします。

○馬提灯づくり 「馬提灯製作に取り組んで」



馬提灯の骨組みは男子が担当しました。針金で輪を作り風糸で固定します。骨組みが出来たら紙貼りで、和紙を一枚ずつ丁寧に貼っていきます。

この繊細な作業は一番苦労したところで、クラス全員が必死になつて頑張ってもなかなか進みませんでした。ようやくこの作業が終わり、次は口ウ塗りをし、顔料で目など描きました。夏の暑い中でも火を使う作業を伴うので、汗を拭いながらの辛い作業でした。最後に馬提灯に耳としっぽをつけて完成です。

この馬提灯は文化祭の展示の後で馬市まつりのパレードに使うものなので、そのためにもたくさん作りましたが、うまくできて本当にホッとしていました。また、クラスみんなが充実感を味わうことができました。

○馬市パレード 「吹奏楽部はつがるちゃんで」

吹奏楽部は、馬市パレードの本番前に部長から「つがるちゃん」のポロシャツを渡されました。全員お揃いの可愛いポロシャツを着ることができて感動しました。

当日はパレード直前に雨が降り出し、木管楽器の担当は、楽器を雨に濡らさぬようにタオルなどで守りながらの演奏でした。

奏でした。特に金管楽器の人たちが一生懸命吹いて頑張っていました。途中雨もあがり、練習中ではなかなか揃わなかった足踏みも揃い、パレードの演奏は成功したと思います。来年こそ晴れますように。

「馬提灯は人気者」

1年次生は、木高祭で製作した馬提灯を手を持ち、つがる市内をパレードしました。馬提灯は、沿道の市民からすぐく人気があって、木高生の手元にあった馬提灯の殆どは、祭りに詰めかけた人たちへと渡ってしまいました。

ただ、馬提灯を初めのうちに渡してしまつたので、後から欲しがっていた人に渡せなかったことが反省点として残りました。何年も前からの馬提灯を店頭に飾って下さっているところもあつたのに…。(ごめんなさい)

沢山のみなさんに喜んでもらい、本当にいい気分で行くことができました。当日は雨が降つたりやんだりといにくの天気でしたが、初めてのパレードはとてつがるちゃんを感じることが出来ました。

馬市まつりは、市民も私たちも幸せな気分にしてくれる、そんな祭りでした。



馬提灯を手を沿道をパレード

「仮装パレードも負けてない」

僕たちの仮装のテーマは「ジブリワールド」。準備期間が短くて大変でしたが、みんなで役割を分担し、配役を決め、当日のパレードでの歩き方などを打ち合わせました。

パレード当日、ジブリキャラの「こだま」でバッチリ白にきめたみんなと、黒の「カオナシ」の僕は、練習通り、いや、練習以上に熱を込めて演じながら歩きました。

僕自身はちびっ子一人を泣かせてしまつほど迫真の演技をすることが出来たのです。パレードに集まつた観客の人たちに僕たちの仮装を喜んでもらったことが一番良かったことだと思っています。他のクラスもそれぞれ工夫した仮装をして、沿道の市民を喜ばせていました。でも、一般市民の参加者の仮装の方が、源義経や弁慶など重装備で、しかも衣装もすごく細かいところまで手を加えていたので、そのレベルの高さに感動しました。



思い思いの仮装で観衆にアピール!

※このページは木造高校の生徒が編集しています。

第四回伝統芸能保存フェスタ

―郷土芸能を受け継ぐ―

第四回つがる市伝統芸能保存フェスタが9月12日、稲垣交流センターで開催され、古くから地域に伝わる郷土芸能を継承している6団体が出演し、約380人の観衆を魅了していました。

つがる市登山囃子保存会

毎年、旧暦の8月1日に行われる津軽地方最大の秋祭り、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統行事の「お山参詣」のお囃子。

五穀豊穡と家内安全を祈願し、津軽各地より白装束に身をかためた参拝者が集まり「サイギサイギ」というお題目を唱えながら、霊峰岩木山に登る。山頂でのご来光を拝み、下山囃子を奏でながら山を下る。



三万荒神鹿島獅子保存会

今より200年以上も前に鹿島神社がお授けになり、鹿島様の前でお神楽を行ったというのが始まりと言われている。

鹿と案内する猿が奥山から降りてきて、川に橋を架けて渡り、森に上がって、お宮に参拝して、神社の庭でお神楽を行うという構成になっている。



弥三郎節保存会

津軽地方に伝わる嫁いびりの内容をもった数え唄形式の民謡。

文化5年(1808)、旧森田村の下相野の百姓弥三郎の所に隣村大開の百姓万九郎の娘が嫁にきましたが、弥三郎の親の嫁いびりに耐え切れず、ついに離縁することになる。その別れの時、外に放り出さ

れた長持に腰をかけ、思い余って嫁が恨みを込めて歌ったのが、この弥三郎節と言われている。



ホーハイ節保存会

高い裏声を張り上げて唄う旧森田村の盆踊り唄。日本民謡としては、きわめて特異な発声法を用いており、津軽民謡の中でも異色で日本のヨードルとも言われている。

今から430年位前の天正年間、津軽藩の祖津軽為信が油川城を攻撃した時、落城かなわらず兵士たちの落胆・疲労がひどかったため、津軽坂(今の鶴ヶ坂)にさしかかると峠の茶屋「お玉茶屋」で一休み。その茶屋で、為信公は兵士達を元気づけるために即興で唄ったのが始まりと伝えられている。



出野里獅子踊保存会

出野里獅子踊りは、320年以上の歴史があり、1680年代に新田開発のため出野里にやってきた武士たちが、出野里の人々に教えたのが始まりとされている。踊りは、三体の鹿の獅子が、猿の化身である「オガシ」に導かれて踊ると雄獅子と中獅子が雌獅子をめぐって激しく争う。やがて、仲直りした三体の獅子たちは、力を合わせて結果をはずし、神聖な世界へと近づいていくという、ドラマチックな構成になっている。



木造甚句保存会

この唄は、名君と称される四代藩主・津軽信政公が新田開発の拠点として設けた代官所や御飯屋において、二十日盆の時に、松の木の下に陣取った殿様の前で唄い踊って見せ

たのが、この唄の始まりと言われている。

その昔、物不足の時代であったため、特別な良い着物がなく、「ボド」という普段着で踊り、現在もなお当時の「ボド」を着て踊られている。



特別出演

「津軽伝統金多豆蔵人形一座」明治40年頃に旧木造町亀ヶ岡の野呂柏次郎によって創作され、約100年間で、3代の人形師によって受け継がれてきた郷土芸能。昭和42年に五所川原市の無形文化財に指定されている。



【お知らせの見方】
申し込み 区間問い合わせ
申・問 申し込み問い合わせ
ホ ホームページ **e** メール

行政相談

〈木造会場〉

●10月20日(月)午前10時～午後2時▽市役所2階相談室
 10月21日(火)～24日(金)の午前10時～正午までは次のとおり。
 21日(火)川除老人憩いの家／
 22日(水)柴田老人憩いの家／
 23日(木)館岡コミュニティ消防センター／24日(金)越水コミュニティ消防センター

※21日(火)～24日(金)の午後は市役所2階相談室で開催します。
 ●11月7日(金)午前10時～午後2時▽市役所2階相談室
 行政相談委員 工藤義則氏
 木造若緑5の7
 電話42・5568

〈森田会場〉

●10月24日(金)午前10時～午後3時／11月14日(金)午前10時～正午▽いずれも森田公民館
 行政相談委員 佐藤朋子氏
 森田町床舞豊原84の2
 電話26・2370

〈柏会場〉

●10月16日(木)午前10時～午後3時▽柏老人福祉センター
 行政相談委員 鈴木克隆氏
 柏鷺坂清見62の42
 電話35・2042

〈稲垣会場〉

●10月15日(水)午前10時～午後3時▽稲垣公民館
 行政相談委員 藤田明夫氏
 稲垣町豊川酒田27
 電話46・3860

〈車力会場〉

●10月25日(土)、26日(日)午前10時～午後4時▽むらおこし拠点館フラット
 電話69・5215
 ※毎週水曜日と金曜日にも実施していますので、事前に電話で確認のうえお越しください。(午前10時～正午、午後2時～4時)

行政相談委員 鳴海 久氏
 牛瀧町柏山3の1 電話56・3514

人権擁護相談

家庭内の問題、子どものいじめや虐待、隣近所のトラブルなどについて、相談に応じます。相談内容の秘密は守られ、相談ください。

〈稲垣会場〉

●10月15日(水)午前10時～午後3時▽稲垣公民館

献血にご協力を願います

●10月20日(月)午前10時～正午▽市役所保健センター前／午後1時30分～4時▽成人病センター

健康推進課 健康管理係
 電話42・2044

健康チェックデーin森田

●11月7日(金)午前10時～正午▽森田公民館
 内容
 ●身長、体重、腹囲測定
 ●メタボチェック(体脂肪率、内臓脂肪レベル測定)
 ●メタボチェックはベースメーカー装着者は測定できません。
 ●骨密度測定
 ●健康に関する相談
 ※健康手帳をご持参ください

健康推進課 保健予防係
 電話42・2044

農家相談

農業委員会では農家相談を開催しますので、農地の売買、賃貸借等相談したい方は、お気軽においでください。

●10月22日(水)午前9時30分～正午▽稲垣支所／午後1時30分～4時▽車力支所
 問 つながる市農業委員会事務局(柏支所内) 電話25・3820

移動年金相談

年金記録等についてご相談ください。

●10月22日(水)午前11時～午後4時▽エルク文化センター
 ※相談は予約が必要です
 ●相談日には、年金手帳、職歴がわかる書類等をご持参ください。また、代理の方

が相談される場合は、委任状、身分証明(運転免許証、保険証等)が必要です。

予約先 弘前社会保険事務所
 電話0172・27・1309

問 市民課 国民年金係
 電話42・1108

市内の写真を募集

市ではカレンダーを作成するにあたり、市民の皆様が撮影した風景、人物、祭り、農作業の様子などの写真を募集しています。提供してくださった方には、「つながるちゃん」の携帯ストラップをプレゼントいたします。

●提出方法 デジタルカメラで撮影したデータ又はスナップ写真
 ●締め切り 11月7日(金)
 問 地域振興対策室
 電話42・1109

つながる市男女共同参画セミナー

●日時 10月29日(水)午後1時～2時30分

●場所 松の館視聴覚室
 ●講師 川口浩一氏(ATVアナウンサー) テーマ「人間(ひと)を尊重し、思いやりと優しさにあふれるまち／男性の視点による男女共同参画について」

●申込み 10月28日(火)まで
 申・問 企画課 男女共同参画推進係 電話42・2372

チエスボロー号の歴史にふれる研修会

●日時 11月20日(木)午前8時30分～正午(※午前8時30分まで市役所集合)

●コース チエスボロー号記念碑・要心寺・フラット他(施設見学、国際交流員講話)

●移動手段 貸切バス
 ●参加費 無料(但し保険料として100円徴収します)

●定員 15人

●申込み 10月31日(金)まで
 申・問 企画課 企画振興係
 電話42・2372

国際ボランティア交流会

市在住外国人と一緒にボランティア活動をしませんか。お気軽にご参加ください。

●日時 10月30日(木)午後1時30分～2時30分

●場所 亀ヶ岡公園
 ●内容 木製ベンチのペンキ塗装等

●申込み 10月27日(月)まで
 申・問 企画課 企画振興係
 電話42・2372

ハロウィンかぼちゃづくり教室

●日時 10月29日(水)午後3時～4時30分

●場所 松の館調理室
 ●講師 ベルテ・デーナ(国際交流員)

●定員 16人

- 参加費 300円(当日持参)
- 申込み 10月24日(金)まで
- 申込み 10月24日(金)まで
- 申込み 10月24日(金)まで

電話42・2372

公民館講座 「家族をめぐる法律問題」

基本的な法律を通して税のしくみを学習しましょう。

- 日時 1回目10月28日(火)、2回目10月30日(木)
- 時間 午後7時～9時
- 場所 森田公民館
- 定員 20人
- 対象 柏・森田地区の成人
- 講師 山崎税理士事務所長

- 内容 「相続人と相続分・贈与・遺贈など税が発生するまでの経過について学ぶ」
- 申込み 10月20日(月)まで
- 申込み 10月20日(月)まで

申請 森田公民館

電話 26・2566

公立金木病院の 眼科診療日の変更について

11月1日から眼科診療日を毎週火・木曜日から毎週火・水曜日に変更となりますので、お間違いないようお願いいたします。

なお、受付時間は従来どおり午前8時30分から11時までです。

問 公立金木病院

電話53・3111

森田学園祭

「森田学園手をつなぐ親の会」が主催し地域の各団体・住民が参加する学園祭が開催されます。

- 日時 11月1日(土)▽午前9時45分～午後2時
- 場所 森田学園
- 内容 県立金木高校による三味線演奏／藤楽団によるバンド演奏／ミスターZマジックショー／各種模擬店等

問 森田学園 電話26・3100

第4回つがる市体育協会会長杯 ボウリング大会参加者募集

- 日時 11月8日(土)▽受付午後6時～6時20分／競技開始6時30分
- 場所 イズミボウリングセンター
- 資格 つがる市に在住、通勤、通学している方
- 定員 54人(定員になり次第締め切り)
- 参加費 1人 2,000円(3ゲーム)

※前売り券は左記の2カ所で11月1日(土)から発売します。

申請 松橋満(富范町)

電話56・2853

イズミボウリングセンター

電話34・8558

平成20年度自衛官募集

- 2等陸・海・空士

応募資格▽18歳以上27歳未満の男子

受付期間▽年間を通じて受付

問 自衛隊青森地方協力本部

五所川原地域事務所

電話35・2305

農業用軽油引取税免税証 の交付申請

平成21年に使用する農業用軽油引取税免税証の交付申請を受付いたします。

- 日時 11月14日(金)午前9時～午後3時
- 場所 五所川原合同庁舎3階(五所川原栄町10)
- 申請用紙は、西北地域県民局県税課課税課及び農協の免税軽油取扱店にございます。

問 西北地域県民局 県税課 課税課

電話34・2111(内線208)

一日技能教室

県立弘前高等技術専門校つがる校では、訓練内容を紹介し、実習作業等を通じて職業訓練に対する理解を深めてもらうため、一日技能教室を開催します。

- 日時 11月21日(金)午前9時～正午
- 場所 弘前高等技術専門校
- 対象 地域住民
- 内容 焼き肉鉄板の製作

【溶接科】焼き肉鉄板の製作

【配管科】子供用いすの製作

定員 各訓練科20人

服装 安全に実技のできる衣服やズック等を着用

- 受付期間 11月11日(火)～18日(火)(土、日を除く午前9時～午後4時30分)※定員になり次第締め切り

申請 県立弘前高等技術専門校つがる校 電話42・2424

パソコン講習会

- 期間 12月1日(月)～16日(火)(土・日を除く)
- 時間 午前10時30分～午後4時30分
- 会場 つがる市商工会館
- 定員 20人(概ね60歳～65歳の方)
- 内容 会計補助(実務活用)
- 受講料 無料
- 申し込み 11月4日(火)～14日(金)まで(印鑑持参)

申請 市シルバー人材センター 電話42・1200

センター

「わら焼き」はやめましょう! 稲わらも大事な資源、有効に活用

焼却する時に発生する煙は、人に害を与え、地球温暖化の原因である二酸化炭素を多量に含んでおり、走行している車の視界の妨げにもなります。稲わらは貴重な資源です。わら焼きをやめて、土作りや畜産農家へ提供するなど有効活用に取り組み、環境にやさしい農業を推進しましょう。

広 告

・進学・学習指導教室・

萩野学習会

対象:小学生・中学生(国・英・数・社・理)

平成20年度入試合格実績【一部掲載】

弘前高校3名、八戸高校1名、木造高校9名、五所川原高校(理数)1名、普通4名、五所川原工業(電子)1名

〒038-3136 つがる市木造萩野13-23 (商工会館裏)

0173-42-1738

15年の実績が合格へと導きます!

広 告

一素敵な香りで人も住まいも健康一

ヒバクリン21

特許第3738258号

殺菌効力実証
ヒバクリン21とは、青森ヒバより抽出される「ヒノキチオール」はタンニカビ類の抗菌作用があること、アルギン酸、体質にも良いと言われ、においにも殺菌効果のあることが医学総会で発表されています。又、病原性大腸菌O157や炭疽(たんそ)菌の増殖防止を実証しており、アロマセラピー(香りによる治療健康法)と合わせて活用できる可能性があると医学研究グループで成果を発表しております。

つがる市牛潟町大田光96

ササキホーム開発

お問い合わせ Tel0173-34-2322